

[参考資料]

食育の推進に関するアンケート調査

1 調査の趣旨等

本調査は、平成 25 年 12 月から実施している「食育の推進に関する政策評価」の一環として、国民から、食育を実践していない場合の理由や食育の重要性を認識することとなったきっかけを把握し、食育の実践度を向上させるための方策を明らかにすることを目的とするものである。

2 調査対象

全国の 20 歳以上の国民を住民基本台帳から無作為に抽出した 4,000 人を対象とした。

3 回収数及び回収率

2,191 人 (54.8%)

4 調査方法（郵送調査及びオンライン調査）

調査票を郵送し、自計申告方式（回答者自身が調査票に回答を記入する調査方式）により実施。なお、回答に当たっては、希望により WEB によるオンラインでの回答も受け付けた。

5 調査期間

平成 26 年 12 月 2 日～12 月 25 日（調査票の配布から回収までの期間）

6 調査事項

- ① 朝食について
- ② 栄養バランスに配慮した食生活について
- ③ 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）について
- ④ 食事のマナーや作法について
- ⑤ 農林漁業体験について
- ⑥ 食品ロスについて
- ⑦ 郷土料理や伝統料理について
- ⑧ 食品の安全に関する知識について
- ⑨ 食事の食べ方について
- ⑩ 家族と一緒に食事をする「共食」について

本アンケートの調査結果報告書は、総務省のホームページにおいて公表している。
(http://www.soumu.go.jp/main_content/000381376.pdf)



政府統計

食育の推進に関するアンケート調査



総務省

【調査票】

この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき、総務大臣の承認を得て、実施するものです。この調査票に記入された内容については、統計以外の目的に使ったり、他にもらしたりすることはありませんので、ありのままを記入してください。

<記入上のお願い>

- 1 お送りした封筒のあて名のご本人が記入してください。
- 2 太枠で示した回答欄の該当する番号の中で、あてはまる番号を○で囲んでください。

<回答方法・回答期限>

以下の①（郵送）又は②（オンライン）の方法からひとつお選びください。

① 郵送による回答

郵送による回答を希望される場合は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、平成26年12月17日（水）までに投函していただきますようお願いいたします。

② オンラインによる回答

オンラインによる回答を希望される場合は、平成26年12月17日（水）までに、回答専用ホームページ（<http://www.surece.co.jp/1410shokua>）にログイン（※）していただき、案内にしたがって、回答していただきますようお願いいたします。

※ ログインの際は、以下のIDをご入力ください。

ID :

【ご不明な点についてのお問合せ先】

総務省行政評価局（法務、外務、文部科学等担当室）
 担当：仲里、三重野、荒居、徳田
 電話：03-5253-5450（直通）
 メール：kans2044@soumu.go.jp

「食育」とは内閣府によると次のように定義されています。

「食育」は、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることで、す。その中には、**規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事**などを実践したり、食を通じた**コミュニケーションやマナー、あいさつ**などの食に関する基礎を身に付けたり、**自然の恵みへの感謝**や**伝統的な食文化**などへの理解を深めたりすることが含まれます。

1 朝食を食べることについてお聞きします。

この調査でいう「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいいます。砂糖・ミルクを加えないお茶類（日本茶、コーヒー、紅茶など）、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしか摂らない場合は、「朝食を食べる」には含めないでください。

問1-1 あなたは、ふだん朝食を食べていますか。（最もあてはまるものひとつだけ○印）

1	ほとんど毎日食べる（1週間に6～7日食べる）	84.0%
2	1週間に2～5日食べないことがある	7.1%
3	ほとんど食べない（1週間に0～1日食べる）	7.9%

→ [問1-2へ]

無回答割合は省略

問1-2 上記問1-1で「3 ほとんど食べない」と回答した方にお聞きします。あなたが、朝食をほとんど食べない理由は何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

1	食べる時間がないから	46.8%
2	作る時間がないから	22.5%
3	用意されていないから	12.1%
4	食欲がないから	27.7%
5	食べない方が調子がよいから	18.5%
6	食べる必要性を感じないから	15.6%
7	その他	11.0%

問1-3 あなたは、朝食を食べることは重要だと思いますか。（最もあてはまるものひとつだけ○印）

1	重要だと思う	79.0%
2	どちらかといえば重要だと思う	16.5%
3	どちらかといえば重要だと思わない	2.3%
4	重要だと思わない	0.9%

問1-4 上記問1-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、朝食を食べることは（どちらかといえば）重要だと思うようになったきっかけは何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

1	家庭での教育（朝食を食べることが大事だと言われたこと）	68.2%
2	学校での教育（先生等の指導や給食日より等）	26.2%
3	自治会等地域でのイベントやPR（料理教室、チラシ等）	3.3%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR（F7i、ホームページ等）	5.9%
5	行政機関のイベントやPR（広報誌、パンフレット、ホームページ等）	6.7%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	36.9%
7	その他	18.8%

2 栄養バランスに配慮した食生活についてお聞きします。

問2-1 あなたは、栄養バランスに配慮した食生活を送っていますか。（最もあてはまるものひとつだけ○印）

1	送っている	24.4%
2	どちらかといえば送っている	56.5%
3	どちらかといえば送っていない	14.5%
4	送っていない	3.2%

問2-2 上記問2-1で「3 どちらかといえば送っていない」又は「4 送っていない」と回答した方にお聞きします。

あなたが、（どちらかといえば）栄養バランスに配慮した食生活を送っていない理由は何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

1	栄養バランスのよい食事を作る時間がないから	34.6%
2	栄養バランスのよい食事が用意されていないから	18.6%
3	栄養バランスに配慮した食生活の送り方が分からないから	19.6%
4	好き嫌いが多いから	23.3%
5	栄養バランスに配慮した食生活を送るのが面倒だから	30.7%
6	栄養バランスに配慮した食生活を送る必要性を感じないから	3.6%
7	その他	13.2%

問2-3 あなたは、栄養バランスに配慮した食生活を送ることは重要だと思いますか。（最もあてはまるものひとつだけ○印）

1	重要だと思う	76.4%
2	どちらかといえば重要だと思う	21.0%
3	どちらかといえば重要だと思わない	0.9%
4	重要だと思わない	0.4%

問2-4 上記問2-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、栄養バランスに配慮した食生活を送ることは（どちらかといえば）重要だと思うようになったきっかけは何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

1	家庭での教育（栄養バランスに配慮した食生活を送ることが大事だと言われたこと）	59.0%
2	学校での教育（先生等の指導や給食日より等）	31.7%
3	自治会等地域でのイベントやPR（料理教室、チラシ等）	4.5%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR（F7i、ホームページ等）	11.1%
5	行政機関のイベントやPR（広報誌、パンフレット、ホームページ等）	9.7%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	52.4%
7	その他	17.8%

3 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）についてお聞きします。

「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）（以下「メタボ」といいます。）とは、内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くならず、血中の脂質異常を起したりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のことです。

問3-1 あなたは、メタボの予防や改善のために、「i）適切な食事」、「ii）定期的な運動」、「iii）週に複数回の体重計測」のどれかを実践していますか（最もあてはまるものひとつだけ○印。i）～iii）について重複して実践している場合は、実践期間が一番長いもの）

1	実践して、半年以上継続している	43.8%
2	実践しているが、半年未満である	5.2%
3	時々気をつけているが、継続的ではない	36.4%
4	実践していない	12.6%

→ [問3-2へ]

問3-2 上記問3-1で「4 実践していない」と回答した方にお聞きします。

あなたが、実践していない理由は何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

区分	i)適切な食事	ii)定期的な運動	iii)体重計測
実践する時間がないから	1 20.6%	2 38.3%	3 12.6%
どのように行えばよいか分からないから	1 19.9%	2 11.9%	
メタボがどのような体に悪影響があるのか具体的に分からないから	1 9.7%	2 9.0%	3 6.1%
実践するのが面倒だから	1 23.1%	2 30.7%	3 22.4%
実践する必要性を感じないから	1 24.5%	2 22.7%	3 28.2%
その他	1 7.9%	2 5.4%	3 5.1%

問3-3 あなたは、メタボの予防や改善のために、i）適切な食事、ii）定期的な運動、iii）週に複数回の体重計測のどれかを実践することは重要だと思いますか。（最もあてはまるものひとつだけ○印）

1	重要だと思う	65.1%
2	どちらかといえば重要だと思う	29.2%
3	どちらかといえば重要だと思わない	2.4%
4	重要だと思わない	1.0%

問3-4 上記問3-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、メタボの予防や改善のために、i）適切な食事、ii）定期的な運動、iii）週に複数回の体重計測のどれかを実践することは（どちらかといえば）重要だと思うようになったきっかけは何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

1	家庭での教育（メタボの予防や改善が大事だと言われたこと）	22.1%
2	学校での教育（先生等の指導や給食日より等）	10.0%
3	健康診断や特定健康診査（メタボ健診）	56.4%
4	自治会等地域でのイベントやPR（料理教室、チラシ等）	2.4%
5	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR（777、ホームページ等）	7.7%
6	行政機関のイベントやPR（広報誌、パンフレット、ホームページ等）	12.0%
7	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	57.3%
8	その他	14.1%

4 食事のマナーや作法についてお聞きします。

箸の使い方や、食卓に肘をついて食べないといった食事の際の態度や姿勢は、一般的には食事のマナーや作法に関する事項とされているものです。このほかにも、ナイフやフォークの使い方ははじめ多くの事項があります。以下、「食事のマナーや作法」についての質問には、これらだけでなく、あなたが食事のマナーや作法として考えていること全般を含めてお答えください。

問4-1 あなたは、ふだん、食事のマナーや作法に気をつけていますか。（最もあてはまるものひとつだけ○印）

1	気をつけている	35.8%
2	どちらかといえば気をつけている	51.9%
3	どちらかといえば気をつけていない	9.4%
4	気をつけていない	2.2%

[問4-2へ]

問4-2 上記問4-1で「3 どちらかといえば気をつけていない」又は「4 気をつけていない」と回答した方にお聞きします。

あなたが、マナーや作法について（どちらかといえば）気をつけていない理由は何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

1	何が正しいマナーや作法か知らないから	37.8%
2	周りの人から注意や指摘をされたことがないから	21.7%
3	周りの人がマナーや作法に気をつけていないから	11.4%
4	マナーや作法に気をつけるのが面倒だから	22.4%
5	マナーや作法に気をつける必要性を感じないから	23.6%
6	その他	15.0%

問4-3 あなたは、食事のマナーや作法に気をつけることは重要だと思いますか。（最もあてはまるものひとつだけ○印）

1	重要だと思う	56.3%
2	どちらかといえば重要だと思う	38.6%
3	どちらかといえば重要だと思わない	3.2%
4	重要だと思わない	0.7%

問4-4 上記問4-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、食事のマナーや作法は（どちらかといえば）重要だと思うようになったきっかけは何ですか。（あてはまるものいくつでも○印）

1	家庭での教育（食事のマナーや作法が大事だと言われたこと）	80.0%
2	学校での教育（先生等の指導や給食日より等）	26.7%
3	自治会等地域でのイベントやPR（料理教室、チラシ等）	3.2%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR（777、ホームページ等）	3.8%
5	行政機関のイベントやPR（広報誌、パンフレット、ホームページ等）	4.5%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	35.9%
7	その他	16.2%

5 農林漁業体験についてお聞きします。

問5-1 あなたは、おおむね過去10年間で、田植えや野菜の収穫、シイタケ栽培、魚の水揚げや水産加工など、農林漁業体験に参加したことがありますか。(あてはまるものひとつだけ○印)

1	参加したことがある	37.6%	→	問5-2へ
2	参加したことがない	61.5%	→	問5-3へ

問5-2 上記問5-1で「1 参加したことがある」と回答した方にお聞きします。農林漁業体験に参加したきっかけは何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	学校で参加する機会があったこと	13.8%
2	職場で参加する機会や情報を得たこと	12.5%
3	自治会等地域のイベントやPRで参加する機会や情報があったこと	8.0%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPRで参加する機会や情報があったこと	3.5%
5	行政機関のイベントやPRで参加する機会や情報があったこと	3.4%
6	農林漁家だから	37.9%
7	その他	41.0%

問5-3 上記問5-1で「2 参加したことがない」と回答した方にお聞きします。あなたが、農林漁業体験に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	農林漁業体験に参加する時間がないから	20.9%
2	農林漁業体験に参加する機会がこれまでなかったから	71.6%
3	費用が高いから	2.5%
4	危険、きつい、汚いイメージがあるから	2.5%
5	興味や関心がないから	19.9%
6	農林漁業体験に参加することが面倒だから	5.5%
7	農林漁業体験に参加することが重要だと思わないから	3.3%
8	その他	10.5%

6 「食品ロス」についてお聞きします。

この調査でいう「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられる食品のことを指します。例えば、作り過ぎた料理を捨ててしまうことや、賞味期限が過ぎていてもまだ食べられる食品を捨てることも「食品ロス」に含めてお答えください。

問6-1 あなたは、「食品ロス」を削減することを意識して取り組んでいますか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	取り組んでいる	32.5%
2	どちらかといえば取り組んでいる	52.4%
3	どちらかといえば取り組んでいない	10.1%
4	取り組んでいない	3.8%

問6-2 上記問6-1で「3 どちらかといえば取り組んでいない」又は「4 取り組んでいない」と回答した方にお聞きします。

あなたが、食品ロスの削減について、(どちらかといえば) 取り組んでいない理由は何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	調理で余った食材を食べきれなかったから	51.3%
2	食べ残した料理を別の料理に作り替えるメニューをあまり知らないから	22.0%
3	余分に準備したり注文しないと気が済まないから	3.9%
4	常に新鮮なものを食べたいから	19.4%
5	食品ロスの削減に取り組むのが面倒だから	9.9%
6	食品ロスの削減に取り組む必要性を感じないから	5.9%
7	その他	23.7%

問6-3 あなたは、食品ロスの削減に取り組むことは(どちらかといえば)重要だと思いますか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	重要だと思う	71.4%
2	どちらかといえば重要だと思う	24.8%
3	どちらかといえば重要だと思わない	1.6%
4	重要だと思わない	0.5%

問6-4 上記問6-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、食品ロスの削減に取り組むことは重要だと思うようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	家庭での教育(食べ物を大切にすることが大事だと言われたこと)	69.3%
2	学校での教育(先生等の指導や給食より等)	24.3%
3	自治会等地域でのイベントやPR(料理教室、チラシ等)	3.8%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR(作り、ホームページ等)	8.5%
5	行政機関のイベントやPR(広報紙、パンフレット、ホームページ等)	11.1%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	48.9%
7	その他	17.6%

7 郷土料理や伝統料理についてお聞きします。

問7-1 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を食べていますか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	食べている	35.8%
2	どちらかといえば食べている	36.6%
3	どちらかといえば食べていない	19.2%
4	食べていない	7.4%

問7-2 上記問7-1で「3 どちらかといえば食べていない」又は「4 食べていない」と回答した方にお聞きします。

あなたが、郷土料理や伝統料理などの料理を(どちらかといえば)食べていない理由は何か。(あてはまるものいくつでも○印)

1	知らないから	33.0%
2	作り方が分からないから	29.7%
3	食べられる店を知らないから	17.0%
4	食べる機会がないから	55.7%
5	好きではないから	5.7%
6	興味が無いから	14.6%
7	その他	7.2%

問7-3 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を次世代に伝えることは重要だと思いますか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	重要だと思う	49.1%
2	どちらかといえば重要だと思う	41.2%
3	どちらかといえば重要だと思わない	6.4%
4	重要だと思わない	1.9%

問7-4 上記問7-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を次世代に伝えることは(どちらかといえば)重要だと思うようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	家庭での教育(次世代に伝えることが大事だと言われたこと)	60.5%
2	学校での教育(先生等の指導や給食日より等)	18.6%
3	自治会等地域でのイベントやPR(料理教室、チラシ等)	12.8%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR(写真、ホームページ等)	8.4%
5	行政機関のイベントやPR(広報誌、パンフレット、ホームページ等)	11.7%
6	テレビ、新聞、雑誌、インターネット等	42.8%
7	その他	20.2%

8 食品の安全性に関する知識についてお聞きします。

この調査でいう「食品の安全性に関する知識」とは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選択するとよいかや、どのような調理が必要かについての知識のことをいいます。このことについてお答えください。

問8-1 あなたは、食品の安全性に関する知識があると思いますか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	十分にあると思う	11.9%
2	ある程度あると思う	59.8%
3	あまりないと思う	25.1%
4	全くないと思う	1.8%

問8-2 上記問8-1で「1 十分にあると思う」又は「2 ある程度あると思う」と回答した方にお聞きします。

あなたは、食品の安全性に関する情報をどこで、何から入手しましたか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	家庭(親の教え等)	52.2%
2	学校(先生等の指導や給食日より等の配布物)	19.7%
3	自治会等地域でのイベントやPR(料理教室、チラシ等)	7.6%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR(写真、ホームページ等)	25.2%
5	行政機関のイベントやPR(広報誌、パンフレット、ホームページ等)	20.7%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	75.1%
7	その他	13.7%

問8-3 上記問8-1で「3 あまりないと思う」又は「4 全くないと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、食品の安全性に関する知識について、あまり・全くないと思う理由は何ですか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	情報の入手方法が分からないから	17.5%
2	情報が氾濫しており、どれが正しい情報か分からないから	62.0%
3	知識を得るのが面倒だから	8.3%
4	知識を得ることが重要だと思わないから	4.2%
5	その他	8.0%

9 食事の食べ方についてお聞きします。

問9-1 あなたは、ふだんの食生活において、よく噛んで味わって食べていますか。
(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	そうしている	19.0%
2	どちらかといえばそうしている	51.9%
3	どちらかといえばそうしていない	24.1%
4	そうしていない	4.2%

問9-2へ

問9-2 上記問9-1で「3 どちらかといえばそうしていない」又は「4 そうしていない」と回答した方にお聞きします。
あなたが、(どちらかといえば) そうしていない理由は何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	時間がないから	35.0%
2	体にどのような良いことがあるのか、具体的によく分からないから	4.5%
3	よく噛んで味わって食べる習慣がないから	49.0%
4	よく噛んで味わって食べるのが面倒だから	13.9%
5	よく噛んで味わって食べる必要性を感じないから	3.7%
6	その他	20.6%

問9-3 あなたは、よく噛んで味わって食べることは重要だと思いますか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	重要だと思う	67.7%
2	どちらかといえば重要だと思う	28.5%
3	どちらかといえば重要だと思わない	2.0%
4	重要だと思わない	0.6%

問9-4 上記問9-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、よく噛んで味わって食べることは(どちらかといえば)重要だと思うようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	家庭での教育(よく噛んで味わって食べるのが大事だと言われたこと)	63.6%
2	学校での教育(先生等の指導や給食だより等の配布物)	33.4%
3	自治会等地域でのイベントやPR(料理教室、チラシ等)	3.7%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR(テレビ、ホームページ等)	8.1%
5	行政機関のイベントやPR(広報誌、パンフレット、ホームページ等)	10.3%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	57.6%
7	その他	15.6%

10 家族と一緒に食事をする「共食」についてお聞きします。

【家族と同居している方が回答してください。(同居していない方は、11 ページへ)】
問10-1 あなたは、朝食や夕食を家族と一緒に食べることは、1週間にどのくらいありますか。(朝食と夕食を合わせた回数について、最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	週に10回以上	50.7%
2	週に7～9回	18.9%
3	週に4～6回	10.6%
4	週に1～3回	10.1%
5	0回	2.8%

2～5を選択
⇒問10-2へ

問10-2 上記問10-1で「2 週に7～9回」、「3 週に4～6回」、「4 週に1～3回」又は「5 0回」と回答した方にお聞きします。

あなたが、朝食や夕食を家族と一緒に食べる事ができない場合がある理由は何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	自分又は家族の仕事が忙しく時間が合わないから	78.9%
2	自分又は家族の勉強や趣味、付き合い等で時間が合わないから	22.5%
3	食事の際に家族とコミュニケーションをとるのが面倒だから	1.5%
4	家族と一緒に食べる必要性を感じないから	2.3%
5	その他	10.4%

問10-3 あなたは、朝食や夕食を家族と一緒に食べることは重要だと思いますか。(最もあてはまるものひとつだけ○印)

1	重要だと思う	62.2%
2	どちらかといえば重要だと思う	27.9%
3	どちらかといえば重要だと思わない	2.5%
4	重要だと思わない	0.7%

問10-4へ

問10-4 上記問10-3で「1 重要だと思う」又は「2 どちらかといえば重要だと思う」と回答した方にお聞きします。

あなたが、朝食や夕食を家族と一緒に食べることは(どちらかといえば)重要だと思うようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	家庭での教育(共食することが大事だと言われたこと)	73.8%
2	学校での教育(先生等の指導や給食だより等の配布物)	21.7%
3	自治会等地域でのイベントやPR(料理教室、チラシ等)	2.6%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR(テレビ、ホームページ等)	3.2%
5	行政機関の食育のイベントやPR(広報誌、パンフレット、ホームページ等)	7.7%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	32.9%
7	その他	24.0%

○ 最後にあなにご自身のことについて伺います。

1	お住まいの都道府県名	1 東京都区部 札幌市 仙台市 さいたま市 千葉市 横浜市 相模原市 新潟市 静岡市 浜松市 名古屋市 大阪市 堺市 神戸市 広島市 岡山市 北九州市 福岡市 熊本市 26.3% 2 20万人以上の市(上記以外) 22.6% 3 10万人以上20万人未満の市 14.0% 4 10万人未満の市 19.9% 5 町村 10.1%
3	あなたの性別	1 男 44.2% 2 女 53.6%
4	あなたの年齢 (ご記入時点)	1 20～29歳：7.5% 2 30～39歳：13.7% 3 40～49歳：16.5% 4 50～59歳：16.8% 5 60～69歳：23.4% 6 70歳以上：20.4%
5	あなたと同居している 人数	あなたを除いて()人 0人：9.8% 1人：30.2% 2人：23.3% 3人：16.9% 4人：7.7% 5人：4.2% 6人：2.0% 7人：0.5% 8人：0.1% 9人以上：0%
6	あなたと同居している 方(全て選んでくださ い。)	1 配偶者：73.6% 2 未成年の子・孫：27.7% 3 成年の子・孫：27.2% 4 父母：22.9% 5 祖父母：3.2% 6 その他：8.6%

ご協力ありがとうございます。

郵送による回答を希望される場合は、お手数ですが、記入漏れがないか、もう一度確認していただいた上で、記入者ご本人が、同封した返信用封筒(切手は不要です。)に入れて、**平成26年12月17日(水)**までに投函していただきますようお願いいたします。

食育の推進に関するアンケート調査

【学校アンケート・児童アンケート・保護者アンケート】

1 調査の趣旨等

本調査は、「食育の推進に関する政策評価」の一環として、学校における食育に関する取組状況、栄養教諭の配置状況、当該学校に通う児童及びその保護者における食育の実践度等を把握することにより、学校における取組の効果及び栄養教諭の配置による効果を把握し、もって、食育関連施策を評価する上で活用することを目的とするものである。

2 調査対象

① 学校アンケート

全国の公立小学校から栄養教諭が在籍している学校 50 校、学校栄養職員が在籍している学校 50 校、両方とも在籍していない学校 50 校の計 150 校を抽出し、事前にアンケートの承諾を得た学校を対象とした。

② 児童・保護者アンケート

学校アンケート対象校に在籍している 6 年生の児童とその保護者の 4,378 人

3 回収数及び回収率

① 学校アンケート 145 校 (96.7%)

② 児童・保護者アンケート 2,878 人 (65.7%)

4 調査方法（郵送調査及びオンライン調査）

学校アンケートは、各対象小学校に郵送し、自計申告方式（回答者自身が調査票に回答を記入する調査方式）により実施。

児童・保護者アンケートは、各学校から児童に手渡しをしてもらい、自計申告方式（回答者自身が調査票に回答を記入する調査方式）により実施。

なお、回答者の希望によりWEBによるオンラインでの回答も受け付けた。

5 調査期間

平成 26 年 10 月 22 日～11 月 14 日（調査票の配布から回収までの期間）

6 調査事項

(1) 学校アンケート

- ① 小学校基本事項
- ② 児童及びその保護者に対する食に関する指導の実施状況
- ③ 栄養教諭制度による効果の有無について
- ④ 食育推進に関する今後の課題、国、都道府県への要望

(2) 児童・保護者アンケート

<児童>

- 普段の食事の状況、郷土料理等の認知度、食品の安全性に関する知識の有無

<保護者>

- ① 普段の食事について
- ② 食事のマナーや作法、食べ方について
- ③ 食事の食べ残しについて
- ④ 地産地消について
- ⑤ 郷土料理や伝統料理について
- ⑥ 食品の安全性について
- ⑦ 農林漁業体験について
- ⑧ 食育に関する情報の入手について

本アンケートの調査結果報告書は、総務省のホームページにおいて公表している。
(http://www.soumu.go.jp/main_content/000381378.pdf)

食育の推進に関するアンケート調査 【小学校用調査票】

この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき、総務大臣の承認を得て、実施するものです。この調査票に記入された内容については、統計以外の目的に使用したり、他にもらしたりすることはありませんので、ありのままを記入してください。

<記入上の注意>

- 特に断りのない問いについては、太枠で示した回答欄の該当する番号の中で、**最もあてはまる番号をひとつだけ○で囲んでください。**
- 特に断りのない問については、昨年度（平成25年度）1年間の状況についてお答えください。
- 本調査票は、貴校における食育全般に関する取組について把握している方が記入してください。

<回答方法・回答期限>

以下の①（郵送）又は②（オンライン）の方法からひとつお選びください。

① 郵送による回答

郵送による回答を希望される場合は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、**平成26年11月7日（金）までに**投函していただきますようお願いいたします。

② オンラインによる回答

オンラインによる回答を希望する場合は、**平成26年11月7日（金）までに**、回答専用ホームページ（<http://www.surece.co.jp/1410shokub>）にログイン（※）していただき、案内にしたがって回答していただきますようお願いいたします。

※ ログインの際は、以下のIDをご入力ください。

ID:

【ご不明な点についてのお問合せ先】

総務省行政評価局（法務、外務、文部科学等担当室）
担当：仲里、三重野、荒居、徳田
電話：03-5253-5450（直通）
メール：kans2044@soumu.go.jp

I 基本事項をお聞きします。

A 貴校に在籍している児童数（平成26年5月1日時点）

1~200人：33.8%	201~400人：24.8%
401人~600人：21.4%	601人~800人：13.1%
800人以上：3.4%	

B-1 栄養教諭及び学校栄養職員員の在籍状況（平成25年5月1日時点）

1	栄養教諭・学校栄養職員員の両方又はどちらかは在籍している	69.9%
2	栄養教諭・学校栄養職員員のどちらにも在籍していない	30.1%

（問B-1で「1」と回答した学校だけお答えください。）

→ B-2 栄養教諭及び学校栄養職員は、辞令により、どこに、何人配置されていますか。該当がない箇所には、「0」を記入してください。

(1)	栄養教諭が在籍している（貴校を専任）	人	17.0%
(2)	栄養教諭が在籍している（共同調理場や他校を兼任）	人	38.0%
(3)	学校栄養職員が在籍している（貴校を専任）	人	32.0%
(4)	学校栄養職員が在籍している（共同調理場や他校を兼任）	人	24.0%

C 学校給食の調理方式（平成25年5月1日時点）

1	単独調理場方式	49.7%
2	共同調理場方式	47.6%
3	その他の調理方式	1.4%

D 平成25年度の食に関する指導に係る全体計画の作成状況

1	作成している	97.9%
2	作成していない	0.7%

※ 食に関する指導に係る全体計画とは、学校における食育を計画的、組織的に推進するために各学校が作成するものです（「食に関する指導の手引き」（平成22年3月文部科学省作成）参照）。

Ⅱ 貴校における児童及びその保護者に対する食に関する指導の実施状況についてお聞きします。

問1-1 貴校では、平成25年度に、1年生から6年生までの全学年の児童に対して、社会、保健体育、総合的な学習の時間の時間等の各教科等における食に関する指導をどのくらい実施していますか。(合計時間数として最もあてはまるものひとつに○印)

※ 各教科における食に関する指導とは、例えば、総合的な学習の時間に地元でとれた食材を使って郷土料理を作ったり、朝食をとることの重要性について学んだりすることです(「食に関する指導の手引き」(平成22年3月文部科学省作成)参照)。
3年1組、3年2組など、ひと学年で複数クラスある場合には、代表して各学年の1組(A組など)の指導時間数を合計して回答してください。
なお、学校給食の時間は除きます。

1	0時間	0.7%
2	1～5時間	29.0%
3	6～10時間	21.4%
4	11～15時間	13.1%
5	16～20時間	6.2%
6	21時間以上	26.2%

(問1-1で「2」～「6」と回答した学校だけお答えください。)

問1-2 貴校では、平成25年度に、各教科等における食に関する指導を、誰が、どのように実施することが多かったですか。指導の実態にあてはまると考える選択肢の番号を、実績が多い順に上位3つまで記入してください。

- ① 学級担任のみが実施する 1位：41.7% 2位：33.8% 3位：13.7%
- ② 学級担任と栄養教諭がチームティーチングで実施する
1位：25.9% 2位：20.1% 3位：8.6%
- ③ 学級担任と学校栄養職員がチームティーチングで実施する
1位：16.5% 2位：13.7% 3位：7.2%
- ④ 学級担任と地域の農家や企業関係者などゲストティーチャーが実施する
1位：9.4% 2位：18.0% 3位：41.7%
- ⑤ その他(具体的に記入してください)
1位：4.3% 2位：5.0% 3位：2.9%

【回答】

1位	2位	3位
----	----	----

→ 次ページの問1-3へ

(問1-1で「2」～「6」と回答した学校だけお答えください。)

問1-3 貴校では、平成25年度に、現6年生(25年度当時5年生)を対象にして、次の内容について、各教科等における食に関する指導を実施しましたか。(それぞれ最もあてはまるものひとつに○印)

指導・取組内容	ひと月に1回程度	半年に1回程度	1年に1回程度	実施しなかった
(1) 家族や友人と一緒に食事をする事	5.0%	38.8%	33.8%	21.6%
(2) 食事のときの挨拶や食事のマナー・作法	18.7%	27.3%	38.1%	15.1%
(3) 学校給食で使用している地場産物や地産地消に関する事	15.8%	31.7%	37.4%	14.4%
(4) 農林漁業体験	10.8%	31.7%	22.3%	34.5%
(5) 食べ残しや食品ロスの削減	16.5%	25.2%	32.4%	23.7%
(6) 地域の郷土料理や伝統食	12.9%	19.4%	39.6%	26.6%
(7) 食の安全性	12.2%	27.3%	39.6%	19.4%
(8) 栄養バランスに配慮した食生活	18.0%	43.9%	33.1%	5.0%
(9) 朝食の欠食や早寝早起きなど食生活リズム	20.1%	40.3%	32.4%	6.5%
(10) よく噛んで食べる事、味わって食べる事	16.5%	28.1%	33.8%	20.9%

問2 貴校では、平成25年度に、現6年生(25年度当時5年生)を対象にして、次の内容について、学校給食の時間における食に関する指導を実施しましたか。(それぞれ最もあてはまるものひとつに○印)

指導・取組内容	ひと月に1回程度	半年に1回程度	1年に1回程度	実施しなかった
(1) 家族や友人と一緒に食事をする事	32.4%	24.8%	24.1%	17.9%
(2) 食事のときの挨拶や食事のマナー・作法	62.1%	21.4%	14.5%	2.1%
(3) 学校給食で使用している地場産物や地産地消に関する事	43.4%	27.6%	21.4%	7.6%
(4) 食べ残しや食品ロスの削減	49.7%	20.7%	20.0%	9.7%
(5) 地域の郷土料理や伝統食	36.6%	28.3%	21.4%	13.8%
(6) 食の安全性	25.5%	20.0%	30.3%	24.1%
(7) 栄養バランスに配慮した食生活	46.9%	24.8%	22.1%	6.2%
(8) 朝食の欠食や早寝早起きなど食生活リズム	37.2%	25.5%	21.4%	15.9%
(9) よく噛んで食べる事、味わって食べる事	53.8%	17.9%	22.8%	5.5%

問3-1 貴校では、平成25年度に、現6年生(25年度当時5年生)の保護者に対して、食生活や健康など食育に関する情報を提供しましたか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	提供している	96.6%
2	提供していない	3.4%

(問3-1で「1」と回答した学校だけお答えください。)

問3-2 平成25年度に、現6年生(25年度当時5年生)の保護者に対して、どのような手段を用いて、食生活や健康など食育に関する情報を提供しましたか。(当てはまるものいくつでも○印。「5 その他」の場合には、()内に具体的に記入)

1	給食日より、保健だよりなどの配布物	100%
2	ホームページ、メール	17.1%
3	保護者会などでの講話	30.0%
4	授業参観などの学校行事	26.4%
5	その他()	13.6%

(問3-1で「1」と回答した学校だけお答えください。)

問3-3 貴校では、平成25年度に、現6年生(25年度当時5年生)の保護者に対して、次の内容について、情報を提供しましたか。(それぞれ最もあてはまるものひとつに○印)

内容	ひと月に1回程度	半年に1回程度	1年に1回程度	提供しなかった
(1) 家族や友人と一緒に食事をすること	7.1%	22.9%	55.7%	14.3%
(2) 食事のときの挨拶や食事のマナー・作法	11.4%	26.4%	51.4%	10.7%
(3) 学校給食で使用している地場産物や地産地消に関する事	33.6%	23.6%	32.9%	10.0%
(4) 農林漁業体験の意義や方法	3.6%	11.4%	25.0%	59.3%
(5) 食べ残しや食品ロスの削減	10.7%	21.4%	37.9%	30.0%
(6) 地域の郷土料理や伝統食	22.1%	29.3%	31.4%	17.1%
(7) 食の安全性	17.1%	21.4%	44.3%	17.1%
(8) 栄養バランスに配慮した食生活	29.3%	35.0%	34.3%	1.4%
(9) 朝食の欠食や早寝早起きなど食生活リズム	23.6%	44.3%	29.3%	2.9%
(10) よく噛んで食べる事、味わって食べる事	17.9%	32.1%	37.1%	12.9%

III 栄養教諭制度による効果の有無についてお聞きします。

問4 平成17年度に栄養教諭制度が創設されてから、次のような貴校等における食育に関する体制や取組内容等に、変化はありましたか。(それぞれ最もあてはまるものひとつに○印)

<学校等における食育に関する体制等について>

内容	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない	分からない
(1) 学校全体で食育に取り組む体制づくりが進んだ	30.3%	50.3%	11.7%	0.7%	3.4%
(2) 栄養教諭が学校における食育の中心的な役割を果たすようになった	34.5%	31.7%	15.9%	2.8%	10.3%
(3) 食に関する指導に対する教職員の理解が進んだ	27.6%	54.5%	8.3%	0.7%	4.1%
(4) 生産者や納入・流通業者、農協等の団体との情報交換の機会が増えた	13.8%	35.2%	35.9%	4.1%	7.6%
(5) 学校給食の栄養管理、衛生管理、物資管理等が徹底されるようになった	33.8%	42.8%	9.7%	1.4%	9.0%
(6) PTAで食育関連の会合を持つなど保護者の連携体制づくりが進んだ	11.7%	36.6%	35.9%	3.4%	9.0%
(7) 地域住民の食育の推進に向けた気運が高まってきた	4.8%	33.1%	42.1%	3.4%	13.1%

<学校等における食育に関する取組内容等について>

内容	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない	分からない
(1) 偏食、肥満傾向及び瘦身願望のある児童に対する個別指導が充実した	15.2%	45.5%	28.3%	1.4%	6.2%
(2) 食物アレルギーのある児童に対する個別指導が充実した	58.6%	26.9%	6.2%	1.4%	3.4%
(3) 各教科の時間や行事など、集団的な食に関する指導が充実した	28.3%	50.3%	12.4%	0.7%	4.8%
(4) 学校給食の残食率や朝食欠食率など、子どもの食生活が改善された	22.1%	48.3%	20.0%	0.7%	5.5%
(5) 学校給食への地場産物の活用が促進した	37.9%	44.8%	8.3%	0.7%	4.8%
(6) 農林漁業体験機会の実施回数が増えた	5.5%	24.1%	48.3%	7.6%	11.0%
(7) 料理教室の開催等、家庭や地域と連携した取組が充実した	15.2%	33.1%	35.9%	4.1%	7.6%
(8) 幼稚園・保育所、小学校、中学校が連携し、子どもの成長段階に合わせた食に関する指導が行われるようになった	14.5%	42.8%	28.3%	5.5%	5.5%

IV 今後の課題、国、都道府県等への要望等についてお聞きします。

問5 貴校において、児童や保護者等に対して食育に関する取組を行うに当たり、食に関する指導に係る全体計画の作成・見直し方法や、食に関する指導の実施方法や内容などについて、今後の課題や国、地方公共団体に支援を求めていることがございましたら、その内容を具体的にご記入ください。

<記入欄>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

郵送による回答を希望される場合は、お手数ですが、記入漏れがないか、もう一度確認していただいた上で、同封した返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、平成26年11月7日（金）までに投函していただきますようお願いいたします。



政府統計

食育の推進に関するアンケート調査 【児童（小学校6年生）・保護者用調査票】



総務省

この調査は、統計法（平成19年法律第63号）に基づき、総務大臣の承認を得て、実施するものです。この調査票に記入された内容については、統計以外の目的に使ったり、他にも使ったりすることはありませんので、ありのままを記入してください。

<記入上の注意>

- 1 特に断りのない問いについては、太枠で示した回答欄の該当する番号の中で、**最もあてはまる番号をひとつだけ○で囲んでください。**
- 2 保護者用調査票は、お子さんにふだん食事を用意している方が記入してください。
- 3 **1ページから2ページまでは児童が、3ページから8ページまでは保護者が記入してください。**
- 4 児童（小学校6年生）アンケートについては、児童が質問内容を正しく理解できるように、保護者の方が児童に付き添うなど、サポートをお願いします。

<回答方法・回答期限>

以下の①（郵送）又は②（オンライン）の方法からひとつお選びください。

- ① 郵送による回答
郵送による回答を希望される場合は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、**平成26年11月7日（金）**までに投函していただきますようお願いいたします。
- ② オンラインによる回答
オンラインによる回答を希望される場合は、**平成26年11月7日（金）**までに、回答専用ホームページ（児童：<http://www.surece.co.jp/1410shokud>）にログイン（※）していただき、案内にしたがって回答していただきますようお願いいたします。児童と保護者の回答ページは別となっておりますので、それぞれのIDでログインしてください。
※ ログインの際は、以下のIDをご入力ください。

ID
児童
保護者

【ご不明な点についてのお問合せ先】
 総務省行政評価局（法務、外務、文部科学等担当室）
 担当：仲里、三重野、荒居、徳田
 電話：03-5253-5450（直通）
 メール：kans2044@soumu.go.jp

「食育」とは内閣府（国の行政機関）によると次のように定義されています。

「食育」は、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができ、人間を育てることとです。その中には、**規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事**などを実践したり、食を分けたり、**自然の恵みへの感謝**や**伝統的な食文化**などへの理解を深めたりすることが含まれます。

【児童（小学校6年生）アンケート】

問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまるものひとつに○印）

1	男	47.6%
2	女	49.9%

問2 あなたは、ふだん朝食を食べていますか。（もつともあてはまるものひとつに○印）

1	毎日食べる	89.4%
2	1週間に4～6日食べる	5.5%
3	1週間に1～3日食べる	2.2%
4	毎日食べない	0.6%

問3 あなたは、好ききらいをせずに何でも食べていますか。（もつともあてはまるものひとつに○印）

1	何でも食べている	28.1%
2	どちらかといえれば何でも食べている	42.1%
3	どちらともいえない	16.4%
4	どちらかといえれば何でも食べていない	8.9%
5	何でも食べていない	2.2%

問4 あなたは、ふだんどのように食事をしていますか。（それぞれもつともあてはまるものひとつに○印）

区分	よくしている	たまにしている	あまりしていない	まったくしていない	わからない
(1) 正しくはしを持って食べている	68.0%	13.8%	9.9%	3.9%	1.9%
(2) 「いただきます」、「ごちそうさまでした」を言っている	70.5%	19.1%	5.9%	1.6%	0.3%
(3) よくかんで食べている	48.5%	32.5%	13.9%	1.3%	1.1%
(4) 味わって食べている	59.3%	27.3%	8.5%	1.1%	1.0%

問5 あなたは、ふだんの朝食や夕食をどのように食べていますか。（それぞれもつともあてはまるものひとつに○印）

<朝食>

27.2%	家族そろって食べている
36.8%	おとなの家族の誰かと食べている
21.6%	子どもだけで食べている
11.2%	ひとりで食べている
1.9%	その他

<夕食>

53.5%	家族そろって食べている
39.1%	おとなの家族の誰かと食べている
2.5%	子どもだけで食べている
1.3%	ひとりで食べている
1.9%	その他

問6 あなたは、ふだんの食事を全部食べていますか。（もつともあてはまるものひとつに○印）

1	いつも全部食べている	58.8%
2	たまに食べ残している	38.1%
3	よく食べ残している	1.9%

問7 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理を知っていますか。（もつともあてはまるものひとつに○印）

1	よく知っている	9.8%
2	まあ知っている	34.6%
3	どちらともいえない	20.2%
4	あまり知らない	23.4%
5	まったく知らない	10.7%

問8 あなたは、食中毒を予防するための調理方法や保存方法、消費期限など、食品の安全に関する知識があると思いますか。（もつともあてはまるものひとつに○印）

1	あると思う	19.9%
2	どちらかといえればあると思う	37.5%
3	どちらともいえない	23.6%
4	どちらかといえればないと思う	10.5%
5	ないと思う	7.3%

これで児童（小学校6年生）アンケートは終了です。ありがとうございました。

【保護者アンケート】

I ふだんの食事についてお聞きします。

問1 あなたは、朝食について、あなたのお子さん（お孫さんなどあなたが生保護者として面倒をみている児童を含みます。以下同じです。）に、どのように接していますか。（最もあてはまるものひとつに○印）

1	朝食を食べるよう、いつも働きかけている	93.4%
2	朝食を食べるよう、たまに働きかけている	3.9%
3	朝食を食べるようには、あまり働きかけていない	1.5%
4	朝食を食べるようには、まったく働きかけていない	0.7%

問2 あなたは、朝食や夕食をあなたのお子さんと一緒に食べることに、どのようにしていますか。（最もあてはまるものひとつに○印）

1	いつも一緒に食べるようにしている	79.2%
2	たまに一緒に食べるようにしている	18.0%
3	あまり一緒に食べるようにしていない	1.7%
4	まったく一緒に食べるようにしていない	0.6%

問3 あなたは、あなたのお子さんに食事を食べさせる時に、栄養バランスについて、どのように接していますか。（最もあてはまるものひとつに○印）

1	好き嫌いせず何でも食べるよう、いつも教えている	69.0%
2	好き嫌いせず何でも食べるよう、たまに教えている	27.1%
3	好き嫌いせず何でも食べるようには、あまり教えていない	3.3%
4	好き嫌いせず何でも食べるようには、まったく教えていない	0.2%

問4 あなたは、次の(1)～(3)のことについて、どう思いますか。（それぞれ最もあてはまるものひとつに○印）

区分	とても重要だと思う	ある程度重要だと思う	どちらともいえない	あまり重要だと思わない	まったく重要だと思わない
(1) 朝食を食べること	92.7%	6.4%	0.5%	0.0%	0.0%
(2) 家族と一緒に食事をすること	73.7%	24.7%	0.8%	0.1%	0.0%
(3) 栄養バランスのよい食事をすること	79.5%	19.1%	0.7%	0.1%	0.0%

II 食事のマナーや作法、食べ方についてお聞きします。

箸の使い方や、食卓に肘を付について食べないといった食事の際の態度や姿勢は、一般的には食事のマナーや作法に関する事項とされています。このほかにも、ナイフやフォークの使い方ははじめ多くの事項があります。以下、「食事のマナーや作法」についての質問には、これらだけでなく、あなたが食事のマナーや作法として考えていること全般を含めてお答えください。

問5 あなたは、食事のマナーや作法について、あなたのお子さんに、どのように接していますか。（最もあてはまるものひとつに○印）

1	いつも教えている	53.6%
2	たまに教えている	42.9%
3	あまり教えていない	2.9%
4	まったく教えていない	0.1%

問6 あなたは、ふだんの食事で、よく噛んで味わって食べることに、あなたのお子さんに、どのように接していますか。（最もあてはまるものひとつに○印）

1	いつも教えている	27.6%
2	たまに教えている	53.4%
3	あまり教えていない	17.1%
4	まったく教えていない	1.3%

問7 あなたは、次の(1)及び(2)のことについて、どう思いますか。（それぞれ最もあてはまるものひとつに○印）

区分	とても重要だと思う	ある程度重要だと思う	どちらともいえない	あまり重要だと思わない	まったく重要だと思わない
(1) 食事のマナーや作法	70.3%	28.8%	0.3%	0.0%	0.0%
(2) よく噛んで味わって食べること	63.1%	34.3%	1.7%	0.1%	0.0%

III 食事の食べ残しについてお聞きします。

問8 あなたは、食事の食べ残しについて、あなたのお子さんに、どのように接していますか。（最もあてはまるものひとつに○印）

1	食べ残さないよう、いつも教えている	67.9%
2	食べ残さないよう、たまに教えている	26.9%
3	食べ残さないようには、あまり教えていない	4.1%
4	食べ残さないようには、まったく教えていない	0.5%

問9 あなたは、食事を食べ残さないことについて、どう思いますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	とても重要だと思う	53.9%
2	ある程度重要だと思う	40.8%
3	どちらともいえない	3.7%
4	あまり重要だと思わない	0.8%
5	まったく重要だと思わない	0.1%

IV 地産地消についてお聞きします。

問10-1 あなたは、ふだんの食事で、地元や都道府県内産の食材を使用すること(地産地消)について、どのようにしていますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	いつも意識して使用している	20.4%
2	たまに意識して使用している	47.7%
3	使用することは、あまり意識していない	27.8%
4	使用することは、まったく意識していない	3.4%

(問10-1で「1」又は「2」と答えた方だけお答えください。)

問10-2 あなたは、地元や都道府県内産の食材を使用していることについて、あなたのお子さんに、どのように接していますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	使用していることを、いつも教えている	14.5%
2	使用していることを、たまに教えている	55.6%
3	使用していることは、あまり教えていない	26.0%
4	使用していることは、まったく教えていない	3.8%

問11 あなたは、地元や都道府県内産の食材を使用することについて、どう思いますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	とても重要だと思う	25.9%
2	ある程度重要だと思う	49.3%
3	どちらともいえない	18.4%
4	あまり重要だと思わない	3.6%
5	まったく重要だと思わない	0.9%

V 郷土料理や伝統料理についてお聞きします。

問12-1 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味を知っていますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	よく知っている	11.9%
2	まあ知っている	51.1%
3	あまり知らない	33.9%
4	まったく知らない	2.0%

(問12-1で「1」又は「2」と回答した方だけお答えください。)

問12-2 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味について、あなたのお子さんに、どのように接していますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	よく伝えている	13.6%
2	たまに伝えている	62.2%
3	あまり伝えていない	22.8%
4	まったく伝えていない	1.4%

問13 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味を次の世代に伝えることについて、どう思いますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	とても重要だと思う	30.0%
2	ある程度重要だと思う	53.6%
3	どちらともいえない	12.3%
4	あまり重要だと思わない	2.0%
5	まったく重要だと思わない	0.1%

VI 食品の安全性についてお聞きします。

問14-1 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするため、どのような食品を選択するとよいかや、どのような調理が必要かについての知識(以下「食品の安全性に関する知識」といいます。)があると思いますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	十分にあると思う	20.4%
2	ある程度あると思う	60.6%
3	あまりないと思う	17.4%
4	まったくないと思う	0.7%

次ページの問14-2へ

(問14-1で「1」又は「2」と回答した方だけお答えください。)

問14-2 あなたは、食品の安全性に関する知識について、あなたのお子さんに、どのように接していますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	いつも教えている	17.8%
2	たまに教えている	64.3%
3	あまり教えていない	17.0%
4	まったく教えていない	0.8%

問15 あなたは、食品の安全性に関する知識を持つことについて、どう思いますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	とても重要だと思う	56.3%
2	ある程度重要だと思う	38.4%
3	どちらともいえない	2.3%
4	あまり重要だと思わない	0.1%
5	まったく重要だと思わない	0.0%

VII 農林漁業体験についてお聞きします。

農林漁業体験とは、田植えや野菜の収穫、シイタケ栽培、魚の水揚げや水産加工などを体験することをいいます。

問16 あなたのお子さんは、これまでに農林漁業体験をしたことがありますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	体験したことがある	75.8%
2	体験したことがない	23.2%

※ 家族の仕事が農家で、農作業を手伝っている場合は、「体験したことがある」にあてはまります。

問17 あなたは、農林漁業体験について、あなたのお子さんにどのように接していますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	体験するよう、いつも勧めている	13.1%
2	体験するよう、たまに勧めている	43.0%
3	体験するようには、あまり勧めていない	32.7%
4	体験するようには、まったく勧めていない	9.9%

問18 あなたは、農林漁業体験について、どう思いますか。(最もあてはまるものひとつに○印)

1	とても重要だと思う	35.7%
2	ある程度重要だと思う	48.1%
3	どちらともいえない	12.5%
4	あまり重要だと思わない	1.3%
5	まったく重要だと思わない	0.1%

VIII 食育に関する情報の入手についてお聞きします。

問19 あなたは、食育に関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものいくつでも○印)

1	学校での授業参観、保護者会などの行事や講話	23.2%
2	学校からの保健だよりや給食だよりなどの配布物	69.8%
3	自治会等地域でのイベントやPR (料理教室、チラシ等)	11.7%
4	食品等を提供する企業、店舗等のイベントやPR (チラシ、ホームページ等)	25.3%
5	行政機関のイベントやPR (広報誌、パンフレット、ホームページ等)	13.7%
6	新聞、テレビ、雑誌、インターネット等	70.4%
7	その他	6.9%

○ 最後にあなたご自身のことについて伺います。

A あなたとあなたのお子さんとの続柄を教えてください。(あてはまるものひとつに○印)

母親	父親	祖母	祖父	その他
91.0%	5.4%	1.2%	0.1%	0.2%

B あなたの年齢を教えてください。(あてはまるものひとつに○印)

20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
0.2%	30.0%	61.3%	5.1%	0.8%	0.6%

ご協力ありがとうございます。

郵送による回答を希望される場合は、お手数ですが、記入漏れがないか、もう一度確認していただいた上で、記入者ご本人が同封した返信用封筒(切手は不要です。)に入れて、平成26年11月7日(金)までに投函していただきますようお願いいたします。